Colet

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

寿命になったニカド電池（またはニカド電池パック）、機器を廃棄する際に取り出したニカド電池は貴重な資源ですので、再利用のためニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

Ni-Cd

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
② 本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で本機を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと、罰則が課されることがあります。

「XEROX」「The Document Company」は登録商標です。

はじめに

このたびはColetをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、Coletの操作方法や使用上の注意事項を記載しています。Coletの性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、Coletをご使用になる前に必ず最初に本書をお読みください。
また、本書は読み終わったあとも大切に保管し、Coletをご使用の際にご不明な点などありましたときにもご利用ください。

富士ゼロックス株式会社

この操作説明書の中で⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた情報機器及びその周辺機器の高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠)に適合しています。

安全にお使いいただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にお使いいただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

本体とロール紙ケースの取り扱いについて

⚠警告

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

付属の充電器以外を使って充電しないでください。火災、感電、故障のおそれがあります。

⚠注意

水をかけたり、濡らしたりしないでください。火災、感電の原因となります。

夏季の自動車内、ストーブやヒーターなどに近い場所に放置しないでください。

指定されていない電池は使用しないでください。火災、感電、故障のおそれがあります。

その他

- テレビやスピーカーなど磁気が強い物の上に放置しないでください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気を利用したカード類を上に置いたり、一緒に保管したりしないでください。
- 強い振動や衝撃を与えないでください。
- 重いものを上に載せないでください。
- 本機は飛行機内での使用が制限される場合があります。飛行機内での使用にあたっては各航空会社の指示に従ってください。

バッテリーパックの取り扱いについて

⚠警告

ニカド電池をご使用の際は、次のことは絶対にしないでください。電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
①ニカド電池を火の中に投入したり、加熱しないこと
②ニカド電池にハンダづけしないこと
③ニカド電池のプラスとマイナスを針金等の金属で接続しないこと
④ニカド電池の外装チューブをはがしたり、傷をつけないこと
⑤ニカド電池に強い衝撃を与えたり、投げつけないこと

ニカド電池を分解、改造しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。

ニカド電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがあるので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

ニカド電池はプラスとマイナスの向きが決められています。機器に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないで、バッテリーのプラグと本体のプラグ差し込み口の向きを確かめてください。電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。

このニカド電池はColet専用の電池です。Colet以外の機器に接続しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。

ニカド電池が漏液したり、変色、変形その他今までと異なることに気づいたときは使用しないでください。

⚠注意

ニカド電池の充電方法については、取扱説明書（本書のP10）をよくお読みください。

ニカド電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が充電器や使用機器から取り出さないよう注意してください。

ニカド電池を小児が使用の際は、保護者が取扱説明書の内容をお教えください。

コピー禁止事項

個人で利用するものであっても何をコピーしてもよいとは限りません。法律によって、単にコピーを所有するだけでも罰せられるものもありますので注意してください。

法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています。(見本であってもコピーすることは禁止されています。)
- 政府の模造許可をとらない限り、未使用の郵便切手や、官製ハガキなどをコピーすることは禁止されています。
- 外国において流通している紙幣、貨幣、証券類をコピーすることは禁止されています。
- 政府発行の印紙、法令で規制されている証券類をコピーすることは禁止されています。

注意を要するもの

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に使用するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類は、不必要なコピーをしないほうがよいと思われます。

著作権の目的となっているもの

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、作者に無断でコピーすることは禁止されています。

クイックレスキューサービスのご案内

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お客様は、本日、富士ゼロックスが提供する最高の品質とサービスを手にされました。

カストマーサポートセンターへ、今すぐお電話ください。

フジゼロックス
フリーダイヤル：0120-78-2209
受付：月～金曜日 午前9:30～12:00 午後1:00～5:00
※ 土・日・祝日はお休みさせていただきます。

カストマーサポートセンターにお電話をいただくと、以下のようなサービスがスタートします。

1. キャンペーン情報や耳よりな商品情報をお知らせいたします。
2. 製品の設置方法や操作方法など、商品についてのお問合せをお受けいたします。
3. 消耗品についてのお問合せやご注文などをお受けいたします。
4. 故障時のサービス（商品添付の保証書をあわせてご覧ください）。
   - リペアキットをお届けします。
   - 修理のご依頼は宅配便でOK。
   - 48時間以内（一部地域を除く）に、修理中の代替機として新品同様の機器（消耗品を除く）をお送りいたします。（購入後1年間対応）

目 次

はじめに 1

安全にお使いいただくために 2

コピー禁止事項 5

クイックレスキューサービスのご案内 6

目次 7

各部の名称と働き 8

電源について 10

バッテリーパックを充電する 10

電源を入れる / 切る 11

バッテリーパックを交換する 12

用紙をセットする 14

ロール紙をセットする 14

カット紙をセットする 17

原稿をセットする 18

原稿をセットする 18

ドキュメントキャリアを使って原稿をセットする 19

コピーする 20

コピーを中止する 23

原稿や用紙がつまったら 24

原稿がつまったら 24

用紙がつまったら 24

日常のお手入れについて 25

故障かな？と思ったら 27

アフターサービスについて 29

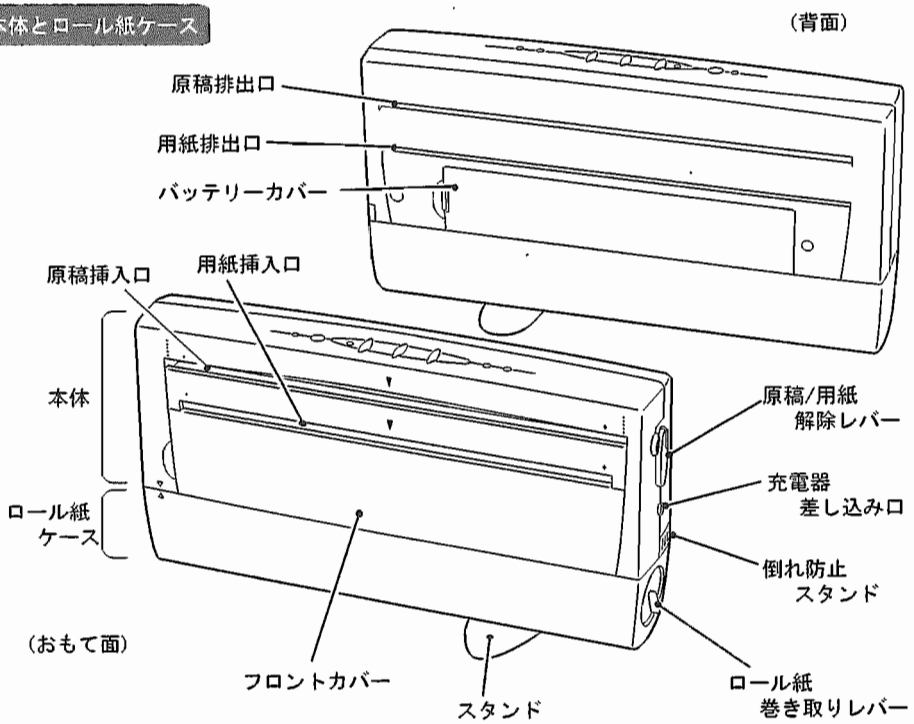
消耗品のご案内 30

主な仕様 31

索引 32

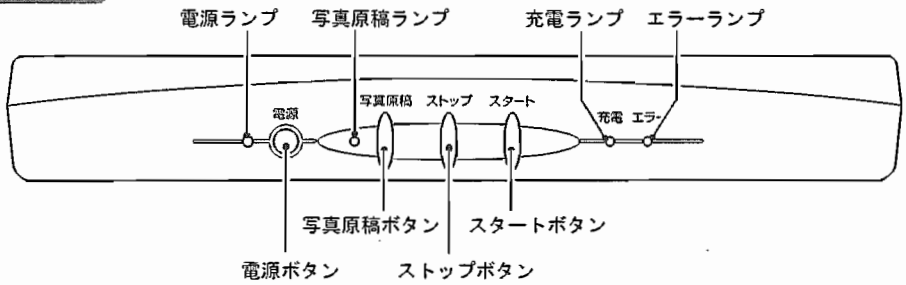
各部の名称と働き

本体とロール紙ケース



名称	働き
原稿排出口	読み取った原稿が排出されます。
用紙排出口	コピーされた用紙が排出されます。
バッテリーカバー	バッテリーパックを交換するときに開けます。
原稿挿入口	原稿を挿入する箇所です。
用紙挿入口	用紙を挿入する箇所です。
フロントカバー	ロール紙をセットするときや取り除くときにはずします。
ロール紙ケース	ロール紙を入れておきます。
スタンド	本体を安定して立たせます。
ロール紙巻き取りレバー	ロール紙がたるんだときに、レバーを回してたるみを取ります。
倒れ防止スタンド	ロール紙ケースの着脱時にスライドさせます。ロール紙ケースを取りはずして使うときは、スタンドの役目もします。
充電器差し込み口	充電器のプラグの差し込み口です。
原稿/用紙解除レバー	原稿挿入口や用紙挿入口にはさまれた原稿や用紙の固定を解除するレバーです。

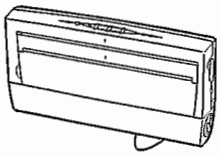
本体上部



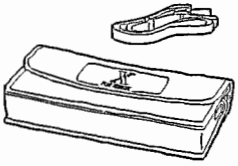
名称	働き
電源ランプ	電源を入れると点灯し、電源を切ると消灯します。また、充電が必要になったときに点滅します。
写真原稿ランプ	写真原稿ボタンを押したときに点灯または消灯します。
充電ランプ	充電中に点灯します。
エラーランプ	本機にエラーが生じたときに点灯や点滅します。また、原稿/用紙解除レバーを「セット」以外に合わせたときにも点灯します。
電源ボタン	電源を入れるときや切るときに(約1秒)押します。
写真原稿ボタン	原稿の種類に応じて押します。
ストップボタン	コピーを途中で中止するときに押します。また、用紙を少し(約80mm)送り出すときにも押します。
スタートボタン	コピーを開始するときに押します。

本機には以下のものが付属されています。お使いになる前にご確認ください。

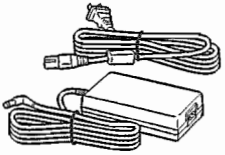
・本体とロール紙ケース(バッテリーパック装着済)



・ソフトケースとベルト

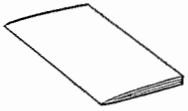


・充電器と接続コード

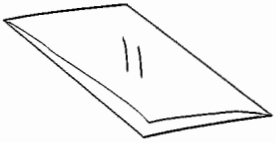


・感熱ロール紙

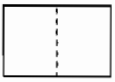
・取扱説明書(本書)



・ドキュメントキャリア



・登録ハガキ(保証書含む)



電源について

本機を初めて使うときには、まずバッテリーパックを充電してください。
また、本機を使用中に電源ランプが点滅したときにも以下の操作で充電します。

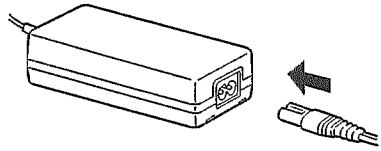
バッテリーパックを充電する

付属の充電器を使ってバッテリーパックを充電します。

⚠警告　充電する場合は、必ず本機に付属している充電器を使ってください。

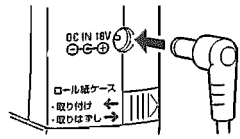
Step1

充電器に接続コードを差し込みます。



Step2

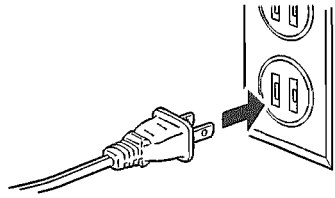
本体に充電器のプラグを差し込みます。



Step3

充電器のプラグを電源コンセントに差し込みます。

充電しているあいだは、充電ランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



補足・バッテリーパックの電池を使いきらないうちに充電を繰り返すと使用できる時間が短くなることがありますので、電源ランプが点滅するまで使いきってから充電してください。
・付属の充電器で充電しているときには、充電中にコピーすることもできます。大量にコピーするときは、充電器に接続したままコピーすると途中で充電する手間が省けます。
・最大にバッテリーパックが消耗しているときで、充電には約2時間かかります。満充電でA4の原稿を約15枚コピーできます。
・充電しても使用できる時間が少なくなってきた場合は、バッテリーパックが寿命に達したことが原因と考えられます。弊社消耗品のバッテリーパックと交換してください。

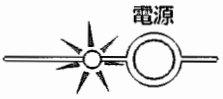
電源を入れる / 切る

電源ボタンを約1秒間押して、電源を入れます。電源が入っているときに、もう一度電源ボタンを約1秒間押すと電源が切れます。

Step1

電源ボタンを約1秒押し続けます。

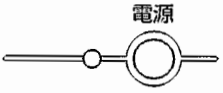
電源が入ると、電源ランプが緑色に点灯します。



Step2

電源ボタンを約1秒押し続けます。

電源が切れると、電源ランプが消灯します。



補足・電源を入れたままで、約5分間本機のボタンやスイッチに触れずに放置すると、本機の電源は自動的に切れます。
・電源を入れているときに、電源ランプが点滅しはじめたら、バッテリーパックが消耗しています。バッテリーパックを充電してください。

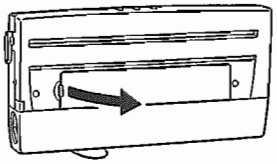
バッテリーパックを交換する

本体背面にあるバッテリーカバーを取りはずして、バッテリーパックを交換します。

補足・本体を寝かせるとバッテリーパックの交換がしやすくなります。
・本機のバッテリーパックはニカド電池を使用しています。
・バッテリーパックを保管するときは、電池を使いきった状態で保管することをお勧めします。

Step1

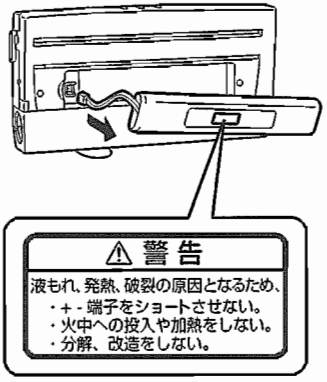
バッテリーカバー左側のみぞに指をかけ、右図の矢印方向にカバーを開け、本体のみぞからバッテリーカバー右側のフックをはずして、バッテリーカバーを取りはずします。



Step2

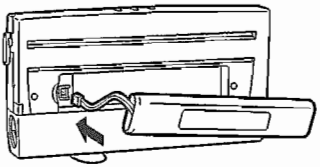
バッテリーのプラグを右図の矢印方向に引き抜いて、バッテリーパックを本体から取り出します。

⚠警告 取り出したニカド電池は、短絡(ショート)防止のために、端子を絶縁テープで貼るなどの対策を講じたあと、乾電池等の他の電池と混ぜないように保管してください。



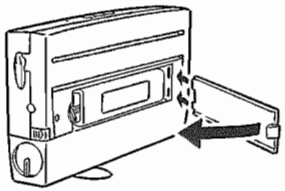
Step3

新しいバッテリーパックのプラグと本体のバッテリープラグ差し込み口の向きが合うように差し込みます。



Step 4

本体のみぞにバッテリーカバー右側のフックをはめこみ、バッテリーカバーの左側をカチッと音がするまで押し込んでバッテリーカバーを取り付けます。



用紙をセットする

本機は、ロール紙とカット紙のどちらも使用することができます。

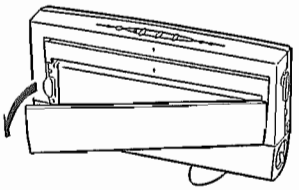
ロール紙をセットする

ロール紙をセットします。ロール紙は一度セットすれば、途中でカット紙を使うことがない限り、セットしたままでコピーすることができます。

補足・ロール紙は、本機専用の規格のものを使用します。必ず付属の感熱ロール紙を使ってください。付属のロール紙を使いきりましたら、弊社の消耗品をお求めください。

Step1

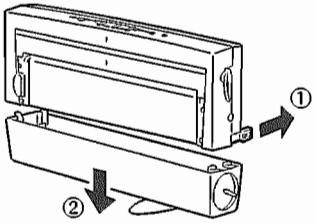
フロントカバー左側に指をかけ、右図の矢印方向に引いてカバーを取りはずします。



Step2

倒れ防止スタンドを右図の矢印①の方向にスライドさせ、ロール紙ケースを本体からはずします。

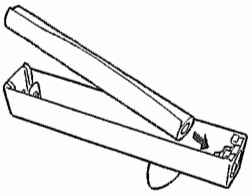
補足・倒れ防止スタンドの左側に、倒れ防止スタンドをスライドさせる方向を示す矢印があります。



Step3

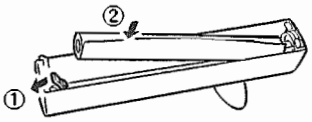
ロール紙の端が手前になるようにして、右側の凸部にロール紙の中心をはめ込みます。

補足・ロール紙ケースの中に、ロール紙セットのイメージイラストがあります。



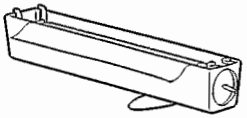
Step4

ロール紙ケースのバネを左側に開いて、ロール紙の左側の中心をバネの凸部にはめ込みます。



Step5

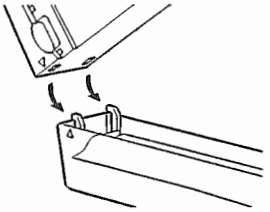
ロール紙の先端を右図のようにロール紙ケースの外側に少し出します。



Step6

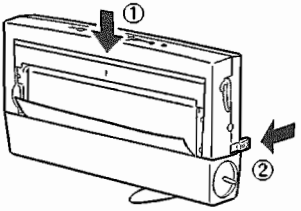
ロール紙ケース左側の2つのフックに、本体の左下側の2か所の穴をひっかけます。

補足・重ねたときに、本体についている「▽」のマークとロール紙ケースについている「△」のマークの位置が合うようにします。



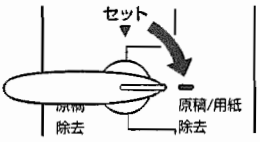
Step7

本体とロール紙ケースを重ね、倒れ防止スタンドを右図の矢印②の方向にスライドさせて固定します。



Step8

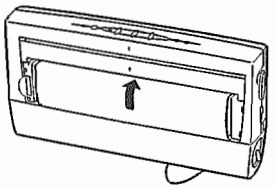
原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせます。



Step9

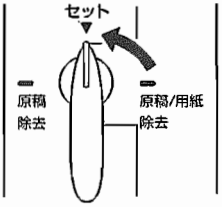
ロール紙の先端が本体背面に少し出るまで、用紙挿入口に差し込みます。

補足・用紙が斜めになっていたらなおします。



Step10

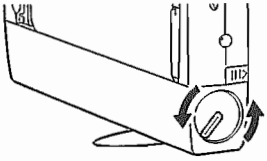
原稿/用紙解除レバーを「セット」に合わせます。



Step11

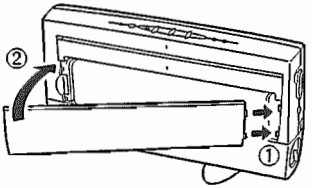
ロール紙巻き取りレバーを右図の矢印方向に回して、ロール紙のたるみを取ります。

補足・ロール紙巻き取りレバーの横に巻き取り方向を示す矢印があります。



Step12

本体のみぞにフロントカバー右側のフックをはめこみ、カバーの左側をカチッと音がするまで押し込んでフロントカバーを取り付けます。



感熱ロール紙の保管上のご注意

- 直射日光、高温、高湿の場所に保管しないでください。
- 記録印字済みの感熱紙を軟質塩化ビニール製品やプラスチック製消しゴムと密着して保管すると、退色することがあります。

感熱ロール紙の取り扱い上のご注意

- 紙面を爪や金属などでこすると、発色することがあります。
- 濡れた手で触ると、指紋がついたり記録印字がぼやけたりすることがあります。また、ハンドクリーム、整髪料、口紅等でも印字が消える場合があります。
- 糊付けに際し、ボンド、シンナーボンド、ゴム系糊、スティック糊等を使用すると発色の原因となりますので、水性糊をご使用ください。
- 粘着テープで止めると、退色しますのでご注意ください。

カット紙をセットする

感熱カット紙をセットします。

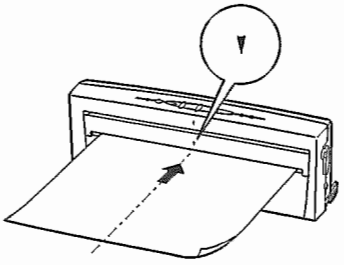
補足・カット紙は、必ず感熱カット紙を使ってください。普通紙ではコピーできません。
・市販の感熱カット紙を使ってください。用紙によっては、低温時に印字濃度が薄くなったり、画質が悪くなる場合があります。高感度タイプの感熱紙のご使用をお勧めします。
・カット紙を使ってコピーするときは、ロール紙を取り除いてください。
・短いほうの一辺の幅が 211mm 以上の用紙は使用できません。
・カット紙を使ってコピーする場合は、ロール紙ケースを本体からはずして使うことができます。ロール紙ケースを本体からはずしてコピーするときには、倒れ防止スタンドを右側にスライドさせて立てると、本体が安定します。

以下のStepは、電源を入れた状態で操作してください。

Step 1

用紙の印字する面を上にして、用紙挿入口の上の▼印に用紙の中央を合わせて挿入します。

用紙が約 4 mm 本体に引き込まれます。



補足・電源が入っていないときには、用紙は本体に引き込まれません。
・電源が入っていても用紙が引き込まれない場合は、用紙をいったん用紙挿入口から取り出してもう一度セットしなおします。
・用紙は用紙挿入口に平行に挿入してください。用紙が斜めにセットされたときは、原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせてから用紙を用紙挿入口側からゆっくりと取り出し、原稿/用紙解除レバーを「セット」に合わせてもう一度用紙をセットしなおします。

原稿をセットする

サイズが228×360mmまでの原稿をセットできます。
厚さが0.6mm以上の原稿は故障の原因となりますのでセットしないでください。
また、カールの激しい原稿は、原稿づまりの原因となりますのでカールを直してからセットしてください。

大切な原稿や次のような原稿は、付属のドキュメントキャリアにはさんでセットしてください。

- 長さが50×50mm以下、厚さが0.04mm以下の原稿
- 鉛筆書きの原稿
- シワや折れ、破れ、ミシン目、穴、カールのある原稿
- 貼り合わせた原稿
- OHPフィルムなどの透けた原稿
- 写真などの印画紙の原稿
- コーティング加工された原稿（免許証など）

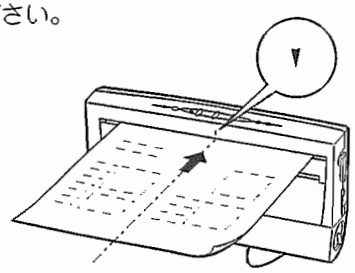
原稿をセットする

原稿は、コピーするごとに1枚ずつセットします。クリップやホチキスの針がついている場合は、はずしてからセットしてください。
以下のStepは、電源を入れた状態で操作してください。

Step 1

原稿のコピーする面を上にして、原稿挿入口の上の▼印に原稿の中央を合わせてセットします。

原稿が約4mm本体に引き込まれます。



補足・電源が入っていないときには、原稿は本体に引き込まれません。
・電源が入っていても原稿が引き込まれない場合は、原稿をいったん原稿挿入口から取り出してもう一度セットしなおします。
・原稿は原稿挿入口に平行に挿入してください。原稿が斜めにセットされたときは、原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」に合わせて原稿を原稿挿入口側からゆっくりと取り出し、原稿/用紙解除レバーを「セット」に合わせて原稿をもう一度セットしなおします。

ドキュメントキャリアを使って原稿をセットする

原稿をドキュメントキャリアにはさんでセットします。
以下のStepは、電源を入れた状態で操作してください。

Step1

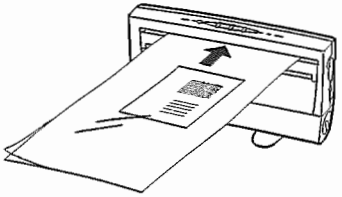
ドキュメントキャリアの透明のフィルムを開いて、コピーする面を上にして原稿をはさみます。

補足・原稿をはさむ位置によって、用紙の上下左右に余白ができてコピーされます。

Step2

ドキュメントキャリアの透明のフィルム面を上にして、とじてある短い方の一辺を原稿挿入口にセットします。

ドキュメントキャリアが約4 mm本体に引き込まれます。



補足・電源が入っていないときには、ドキュメントキャリアは本体に引き込まれません。
・ドキュメントキャリアが本体に正しく引き込まれなかった場合は、前ページの「原稿をセットする」のStep 1の補足と同様にして、原稿をもう一度セットしなおします。

こんなときには

いつも同じ長さの原稿をドキュメントキャリアにはさんで使う場合は、原稿の長さに合わせてドキュメントキャリアをはさみで切って使うと便利です。

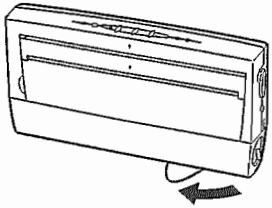
コピーする

用紙と原稿をセットして、スタートボタンを押すだけでコピーすることができます。

補足・コピーするときには、必ず本体を立てて、スタンドをセットしてコピー操作を行ってください。本体を寝かせたままコピーすると原稿づまりや用紙づまりの原因となります。
・複数部コピーが必要な場合は、以下の Step を必要部数分繰り返してコピーします。
・縮小や拡大コピーはできません。
・原稿と用紙の両方がセットされていないとコピーできません。

Step1

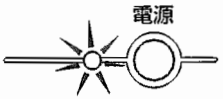
スタンドを右図の矢印方向にまわして、セットします。



補足・ロール紙ケースの底に、スタンドのセット方向と収納方向を示す矢印があります。
・カット紙を使う場合で、ロール紙ケースを取りはずしているときには、本体の倒れ防止スタンドを右側にスライドさせます。

Step2

電源ボタンを約1秒押して、電源を入れます。



Step3

用紙をセットします。

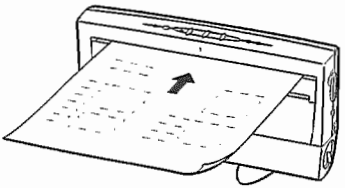
参照・「ロール紙をセットする」(P14)
・「カット紙をセットする」(P17)

以下の Step では、ここでロール紙をセットした例で説明します。

Step4

原稿をセットします。

参照・「原稿をセットする」(P18)

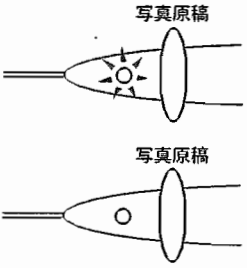


Step5

原稿の種類によって、写真原稿ボタンを押して、写真原稿ランプを点灯または消灯させます。

① 写真を含んだ原稿の場合は、写真原稿ランプを点灯させます。

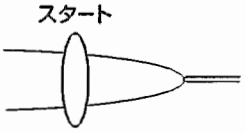
② 文字原稿の場合は、写真原稿ランプを消灯させます。



Step6

スタートボタンを押します。

原稿が読み取られると同時にコピーされ、本体背面に原稿とコピーが排出されます。

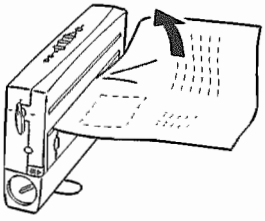


Step7

ロール紙を使ってコピーした場合は、出力された用紙を、本体に沿って切り取ります。

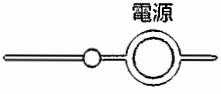
補足・余白をつけて用紙を切り取りたいときには、ストップボタンを1回押すと用紙が約80mm送り出されます。

・カット紙にコピーした場合は Step 7 の操作は必要ありません。



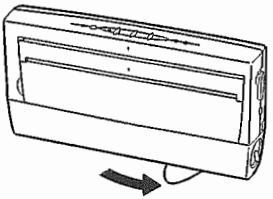
Step8

電源ボタンを約1秒押して、電源を切ります。



Step9

コピーが終わったら、スタンドを右図の矢印方向にまわして収納します。



原稿読み取り中に用紙がなくなって、原稿が途中で止まったら

以下のように対処します。

① ロール紙を使い切ってコピーが中断された場合は、原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」に合わせて原稿を原稿排出口側から取り出し、ロール紙をセットして、もう一度コピーしなおします。

② カット紙より原稿のサイズが長くて読み取りが途中で止まった場合は、次の用紙をセットしてスタートボタンを押すとコピーを再開できます。ただし、この場合は、原稿イメージの一部が欠落してコピーされます。カット紙をご使用の場合は、用紙よりも長い原稿をコピーしないようお勧めします。

原稿読み取り後に、カット紙が途中で止まったら

原稿読み取り後にカット紙が用紙挿入口にはさまれた状態で止まっている場合は、次のいずれかの操作をして用紙を取り出します。

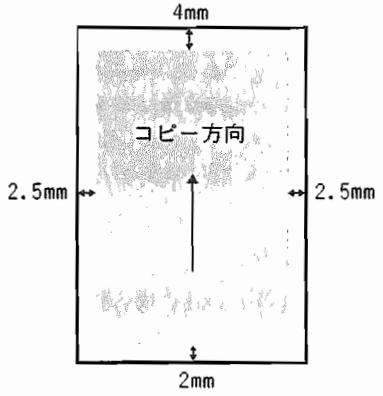
① ストップボタンを必要回数押して用紙を送り出します。

② 原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせて、用紙を用紙排出口側から取り出します。

コピーできる範囲について

コピーしたとき、原稿の端まではコピーされません。コピーされない部分が、右図の白い部分のようにできます。

A4の原稿をロール紙にコピーした場合は、上4mm、左2.5mm、右2.5mm、下2mmはコピーされません。
A4の原稿をカット紙にコピーした場合は、上4mm、左2.5mm、右2.5mm、下6mmはコピーされません。
(右図の数値はロール紙にコピーした場合です。)



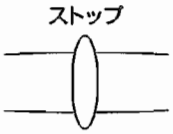
コピーを中止する

コピーを途中で中止します。
ロール紙にコピーする場合は、原稿の後半に余白があるときなどに、余白部分の読み取りが始まったところでコピーを中止すると、用紙を節約できます。

Step1

コピー中にストップボタンを押します。

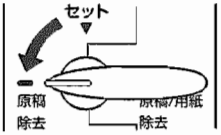
コピーが中止されます。



Step2

原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」に合わせて、原稿を取り出します。

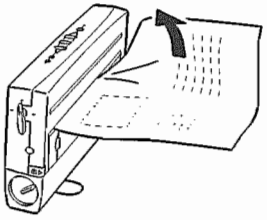
補足・原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせると、原稿と用紙を同時に取り出すことができます。



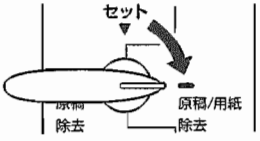
Step3

用紙を取り除きます。

① ロール紙にコピーした場合は、出力された用紙を、機械本体に沿って切り取ります。



② カット紙にコピーした場合は、原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせて、カット紙を用紙排出口側から取り出します。（必ず用紙排出口側から取り出してください。）



原稿や用紙がつまったら

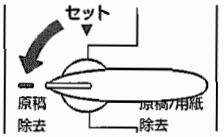
機械本体の背面がふさがれているときにコピー操作を行ったり、規定外の原稿や用紙を使ってコピーすると原稿づまりや用紙づまりが発生します。

原稿がつまったら

原稿づまりが発生したときには、以下のように対処します。

Step 1

原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」に合わせて、原稿を原稿排出口側から取り出します。



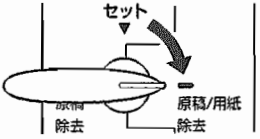
補足・原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせると、原稿と用紙を同時に取り出すことができます。
・原稿が原稿排出口側から取り出せない場合は、ゆっくりと原稿挿入口側から取り出してください。

用紙がつまったら

用紙づまりが発生したときには、以下のように対処します。

Step 1

原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせて、用紙を用紙排出口側から取り出します。



補足・用紙を用紙排出口側から取り出せない場合やロール紙の場合は、ゆっくりと用紙挿入口側から取り出してください。

日常のお手入れについて

機械の外部や、原稿排出口の中にあるローラーや原稿ガラス、用紙排出口の奥にあるサーマルヘッドは以下の要領で掃除します。

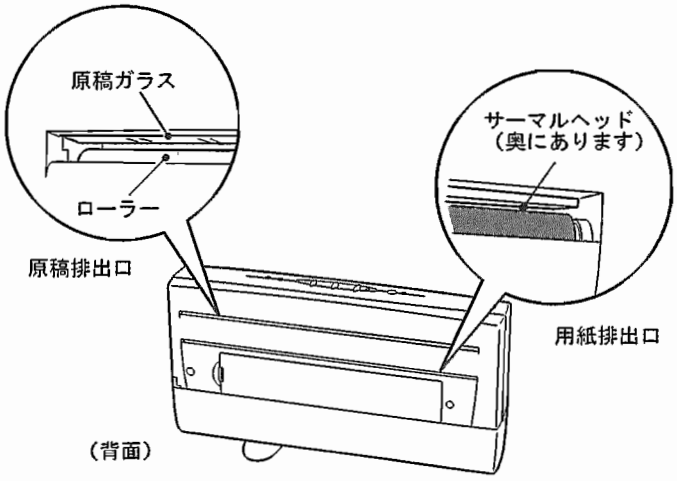
外部のお手入れ

本体とロール紙ケースの外部は、柔らかい乾いた布でふきます。

シンナー、アルコール、ベンジンなどの有機溶剤や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

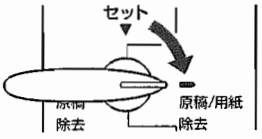
ローラー、原稿ガラス、サーマルヘッドのお手入れ

柔らかい乾いた布を使ってお手入れしてください。ティッシュペーパーなど、ふいたあとにゴミが残るものは使わないでください。



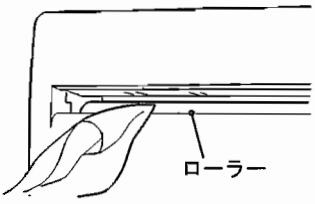
Step1

原稿/用紙解除レバーを「原稿/用紙除去」に合わせます。



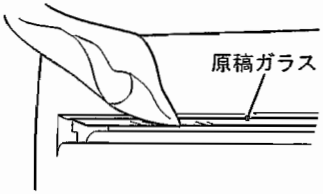
Step2

本体背面の原稿排出口の中、下側にある白いローラーをふきます。



Step3

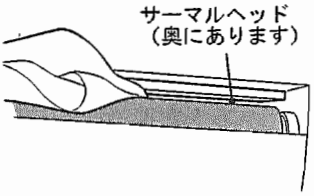
本体背面の原稿排出口の中、上側にある原稿ガラスをふきます。



Step4

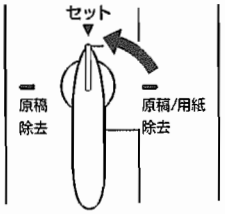
本体背面の用紙排出口の奥にあるサーマルヘッドをふきます。

補足・用紙排出口奥は暗いためサーマルヘッドを眼で確認できません。用紙排出口の奥まで布を入れてふいてください。



Step5

原稿/用紙解除レバーを「セット」に合わせます。



故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度次の項目を調べてください。
次の項目を調べても正しく動作しない場合は、「アフターサービスについて」(P29)を参照して弊社のカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

このようなときは	原因	対処方法	参照
電源が入らない 電源を入れても機械が動作しない	バッテリーパックが消耗していませんか。	付属の充電器でバッテリーパックを充電してください。	P10
	バッテリーパックはきちんと取り付けられていますか。	バッテリープラグをバッテリープラグ差し込み口にきちんと接続してください。	P12
原稿を読み込まない 原稿が斜めに送られる 原稿が排出されない	原稿は正しくセットされていますか。 原稿をセットしたときに、原稿の先端が4mm程度引き込まれましたか。	原稿を正しくセットしてください。	P18
	原稿の種類は適切ですか。	適切な原稿を使用してください。 または、原稿をドキュメントキャリアにはさんでセットしてください。	P18
用紙を送らない	用紙は正しくセットされていますか。 カット紙を使用している場合、用紙の先端が4mm程度引き込まれましたか。	用紙を正しくセットしてください。	P14 P17
コピーが白紙で排出される	用紙の種類は適切ですか。	適切な感熱紙を使用してください。	P14 P17
	原稿のコピーする面を、下向きにセットしていませんか。	原稿のコピーする面を、上向きにセットしてください。	P18
	用紙の印字する面を、下向きにセットしていませんか。	用紙の印字する面を、上向きにセットしてください。	P14 P17
	誤ってストップボタンを押していませんか。	スタートボタンを押してください。	-

このようなときは	原因	対処方法	参照
コピーが汚れる	原稿に汚れがついていませんか。	原稿の汚れを取り除いてください。	-
	原稿ローラーに汚れがついている可能性があります。	原稿ローラーを清掃してください。	P25
コピーに黒スジが入る	原稿ガラスに汚れがついている可能性があります。	原稿ガラスを清掃してください。	P25
コピーがスジ状にぬける	サーマルヘッドに汚れがついている可能性があります。	サーマルヘッドを清掃してください。	P25
コピーの位置がずれる	原稿は正しくセットされていますか。	原稿の位置を正しくセットしてください。	P18
	用紙は正しくセットされていますか。	用紙の位置を正しくセットしてください。	P14 P17
画像のうつりが悪い	写真原稿ボタンを誤って押していませんか。	読み取る原稿に合わせて、写真原稿ボタンを押して、写真原稿ランプを点灯または消灯させてください。	P21
	原稿の背景に色がついていませんか。	写真原稿ボタンを押して、写真原稿ランプを点灯させてください。	P21
コピー速度が遅い	周囲の気温が低くありませんか。	周囲の気温が低いと、自動的にコピー速度が遅くなります。異状ではありません。	P31
エラーランプが点灯している	原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」または「原稿/用紙除去」に合わせていませんか。	原稿/用紙解除レバーを「セット」に合わせてください。	P9
	360mmより長い原稿をコピーしていませんか。	原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」に合わせて、原稿を取り除いてください。	P18
	50mmより短い原稿をコピーしていませんか。	原稿/用紙解除レバーを「原稿除去」に合わせて、原稿を取り除いたあとに、電源を入/切してください。	-
エラーランプが点滅している	オーバーヒートです。	しばらく放置すると、正常に戻ります。	-

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」(P27) をよくお読みください。それでも異常があるときは、使用をやめて弊社のカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

注記・ご自分の判断で修理はしないでください。たいへん危険です。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
弊社は、Coletの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低保有期間として7年間保有しております。

お問い合わせは

この商品の保守や操作については、下記のカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

カストマーサポートセンター
フリーダイヤル　0120-78-2209

フリーダイヤルは、土、日、祝日を除く午前9:30～12:00、午後1:00～5:00の間に東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話番号機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。また、お問い合わせは日本国内のお客さまに限らせていただきます。

消耗品のご案内

消耗品は、Colet をお買い上げいただいた販売店等でご購入ください。
ただし、販売店等で入手できない場合は、弊社カストマーサポートセンターまで、ファクスにてご注文ください。

カストマーサポートセンター
ファクス　03-3342-1551
フリーダイヤル　0120-78-2209

ご注文に際しての注意点

☆ 商品と引き換えに、料金のお支払いをお願いします。
☆ 運送料金は別途お客様にご負担いただきます。
☆ 商品のお届けには、ご注文後数日かかります。

消耗品

弊社では、以下の消耗品をご用意しています。ご注文の際には品名と型番（商品コード）をお知らせください。

品　名	型 番 （商品コード）
バッテリーパック	F509
Coletロール紙（3本セット）	F506
ドキュメントキャリア	F508

主な仕様

本体	原稿サイズ	最大　228×360mm 最小　50×50mm
	記録紙サイズ	A4カット紙使用時 210×297mm ロール紙使用時　210×10,000mm(専用感熱ロール紙)
	記録方式	感熱記録方式
	解像度	主走査　8dots/mm 副走査　7.7dots/mm
	コピー速度	約 30秒 (A4、気温15～35℃) 約 60秒 (A4、気温5～15℃未満)
	外形寸法	幅259×高さ96×奥行き41mm(本体のみ、突起部を除く) 幅259×高さ141×奥行き41mm(ロール紙ケース装着時、突起部を除く)
	質量	約 850g (本体のみ) 約 1049g (感熱ロール紙とロール紙ケース装着時)
	電源	充電式ニカド充電池 (バッテリーパック) 定格電圧 12V 容量 350mAh
	バッテリー充電時間	約2時間(付属充電器を使用)
	使用環境	気温5～35℃、湿度 15～85%(ただし結露なきこと)
充電器	電源	入力　AC100V (50/60Hz共用)71VA 出力　DC18V 1.8A

索引

あ

アフターサービス 29
安全にお使いいただくために 2
エラーランプ 9
お手入れ 25

か

外形寸法 31
解像度 31
外部のお手入れ 25
各部の名称と働き 8
カストマーサポートセンター 6,29,30
カット紙が途中で止まったら 22
カット紙をセットする 17
感熱ロール紙 9
感熱ロール紙の取り扱い上のご注意 17
感熱ロール紙の保管上のご注意 16
記録紙サイズ 31
記録方式 31
クイックレスキューサービス 6
原稿がつまったら 24
原稿が途中で止まったら 22
原稿ガラス 25
原稿サイズ 31
原稿挿入口 8
原稿排出口 8
原稿/用紙解除レバー 8
原稿をセットする 18
故障かな？と思ったら 27
コピー禁止事項 5
コピーする 20
コピー速度 31
コピーできる範囲について 22
コピーを中止する 23

さ

サーマルヘッド 25
質量 31
写真原稿ボタン 9
写真原稿ランプ 9
写真を含んだ原稿 21
充電器 9,10
充電器差し込み口 8
充電する 10
充電ランプ 9
修理を依頼される前に 29
仕様 31
使用環境 31
消耗品 30
スタートボタン 9
スタンド 8
ストップボタン 9
接続コード 9
ソフトケースとベルト 9

た

倒れ防止スタンド 8
電源 31
電源について 10
電源ボタン 9
登録ハガキ 9
電源ランプ 9
電源を入れる/切る 11
ドキュメントキャリア 9,18,19
取扱説明書 9

な

ニカド電池 12

は

バッテリーカバー 8
バッテリー充電時間 31
バッテリーパック 10,12
バッテリーパックの取り扱いについて 4
フロントカバー 8
補修用性能部品について 29
保証書 9
本体 8,9
本体とロール紙ケースの
取り扱いについて 3

ま

文字原稿 21

や

用紙がつまったら 24
用紙挿入口 8
用紙排出口 8

ら

ローラー 25
ロール紙ケース 8,9
ロール紙巻き取りレバー 8
ロール紙をセットする 14

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターへご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-27-4100
(フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く 9～12 時、13～17 時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。)

Colet 取扱説明書

著作者 - 富士ゼロックス株式会社
ドキュメントエンジニアリング サービス部
発行者 - 富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22
電話 03(3585)3211

発行年月日 - 1998 年 9 月 1 版

Printed in Japan

Colet 取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

この説明書はエコマーク商品に認定
された再生紙を使用しています。

1版
1998年9月
WS48/WS49